

所属・資格 社会福祉学科・教授

申請者氏名 金子 絵里乃

研究課題		ソーシャルワークにおけるコンサルテーション
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>本研究では、ソーシャルワークにおいて、コンサルテーションについてどのような研究が行われているかを明らかにすることを目的に文献研究を行った。</p> <p>コンサルテーションは、ソーシャルワーカーの役割として認知されており、ソーシャルワークの文献でその重要性が言及されている。しかし、コンサルテーションとは何か、ソーシャルワークにおけるコンサルテーションについてどのような研究が行われているかについて十分に研究が行われていない。そこで本研究では、コンサルテーションに関する国内の先行研究をレビューするとともに、ソーシャルワークの分野において、これまでにどのような研究が行われてきたかを分析した。</p>
	研究の結果	<p>コンサルテーションに関する国内の先行研究を概観したところ、論文検索システム CiNii では、2,300 件ほどの論文があることが明らかとなった。その内容を分析すると、①教育におけるコンサルテーション、②医療におけるコンサルテーション、③経営・産業のコンサルテーションに分類された。さらに、ソーシャルワークにおけるコンサルテーションに焦点を当てると、論文数は9件にとどまり、研究が十分に行われていないことが明らかとなった。</p> <p>数少ない研究として、北本（2013）は、日本のソーシャルワークの研究において、未開拓領域である経営管理面におけるコンサルテーションについて実態調査を行っている。その結果、経営管理面におけるコンサルテーションとして、「クライアントへの支援の内容やあり方についての説明・意見の提示」、「組織の今後のあり方や方針についての情報提供や意見の提示」、「組織の運営や経営に関する情報提供や意見の提示」があり、これらの項目について5割以上の回答があったことを明らかにしている。</p>
	研究の考察・反省	<p>ソーシャルワークにおけるコンサルテーションの先行研究を分析した結果、ソーシャルワークにおいてコンサルテーションは必要不可欠と言及されているにもかかわらず、その研究が極めて少ないことが明らかとなった。先行研究を分析すると、ソーシャルワークにおけるコンサルテーションの実践に関する事例研究が散見され、学校および社協におけるコンサルテーションの実際に関する研究が行われていた。また、ソーシャルワークの分野では病院においてコンサルテーションが日常的に行われているものの、その実践に関する研究がないことが明らかとなったため、今後は医療ソーシャルワーカーが病院においてどのようなコンサルテーションを行っているかについて研究を行っていきたい。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究成果物	<p>※ この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>「ソーシャルワーク理論化～1940年代から1960年代」、「ソーシャルワークの新たな歩み～1970年代以降」『社会福祉学習双書第9巻社会福祉援助技術論I 相談援助の基盤と専門職・相談援助の理論と方法』全国社会福祉協議会、pp.136-160. 2020年3月</p>
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者		